

# 宜野湾ガス、初制覇

女子決勝リーグ 宜野湾ガス-那覇西ク前半、宜野湾ガスの眞貴和子が7点目のシュートを決める＝県総合運動公園体育館(小宮健撮影)

## ハンド県総合選手権

ハンドボールの第55回県総合選手権最終日は20日、県総合運動公園体育館で行われ、女子決勝リーグ最終戦は宜野湾ガスクラブが那覇西クラブを16-11で破り、2戦全勝で初優勝した。男子決勝はTYFCがエレメンツを27-19で下して初制覇。マスターズは糸満クラブOB、マスターズ50Sは沖縄教員が優勝した。

新型コロナウイルス感染対策のため、大会は20分ハーフに短縮し、無観客で行われた。

### 【男子】

▽決勝  
TYFC 27(13-8)19 エレメンツ

### 【女子】

▽決勝リーグ第3戦  
宜野湾ガス 16(10-8)11 那覇西クス

▽同最終成績 ①宜野湾ガス2勝 ②那覇西ク1勝1敗③名桜大2敗

### 【マスターズ】

▽決勝リーグ第3戦  
天外天 10(6-6)9 糸満クOB

▽同最終成績 ①糸満クOB1勝1敗②天外天1勝1敗③青空1勝1敗

(1~3位は得失点差による)

### 【マスターズ50S】

▽決勝リーグ第3戦  
沖縄教員 16(6-6)12 36 会

▽同最終成績 ①沖縄教員2勝②コザクOB1勝1敗③36会2敗

## 攻守かみ合い走り勝つ

## ハイライト

選手8人だけで挑んだ宜野湾ガスが強豪の那覇西クラブから初勝利を挙げ、昨年4月の県一般選手権に続き2度目の頂点に立った。持ち味の堅守速攻を存分に発揮しての勝利に、仲宗根由香利主将は「今までは那覇西クの雰囲気にもまれることが多かったが、きょうは自分たちの流れに持っていた。走り勝ち」と胸を張った。

セットオフenseでも、前半は元大阪ラヴィッツのPV眞貴和子にボールを集めて10-8と主導権を握った。後半開始直後に追い付かれたものの、眞貴がマークを引き付けて空いた相手守備を、與那覇日菜子らフローター陣が突いて勝ち越した。

GK玉城日菜子は、「勘で思い切り動いて」7発スローを右足で2度阻止。苦しい時間帯の1対1も止め、最後まで一度もリードを許さなかった。

25歳で最年少の一人、眞貴はチーム最多7点を挙げた。「先輩たちの声掛けて伸び伸びと冷静にプレーできた」と喜び、「4月の大会に向けて頑張る」と一般選手権2連覇を誓った。

(當山学)



男子決勝 TYFC-エレメンツ 前半、高い打点から10点目のシュートを決めるTYFCの金城武浩

## 小中から仲間 息びたり

男子はTYFCが前半とも優位に進め、エレメンツに27-19で快勝した。

TYFCは1997-98年生まれで、浦添市内の小中学校出身者を中心に昨年結成したばかりのチームだ。司令塔の金城武浩は身長168センチながら高い打点からのシュートを放ち、チーム最多の9得点。さらに「小学生の時から友達同士だから、サインを合わせなくてもいい」と、ポスト鶴平名啓允らへ決定的なパスを何度も通した。「相手も若いチームだったけど走り勝てた」とうなずいた。

ただ、コロナ禍で前回優勝の興南BICなどは出場しなかった。4月の一般選手権に向け、金城は「いい結果を残したい」と強豪との対戦に備える。

この大会を最後に競技を終える選手もいる。福岡出身で名桜大4年の林照越は、先輩の金城らに誘われて約半年間プレーした。180センチの長身を生かして7得点し、「徐々に先輩と楽しく試合ができた」と有終の美をかみ締めていた。

## TYFC、男子初V



女子優勝の宜野湾ガス



男子優勝のTYFC